



2014年8月30日

## **BMW Motorrad が展開する「BMW R nineT カスタム・プロジェクト」のカスタム車両が完成**

- 日本を代表する4人のカスタム・ビルダーが仕上げたBMW R nineTのカスタム車両の全貌を公開。
- プロジェクトのスペシャル・サイト内にて、「完成篇」ムービーを公開。
- カスタム車両は、「BMW MOTORRAD DAYS JAPAN 2014」で初公開。

ビー・エム・ダブリュー株式会社(代表取締役社長:ペーター・クロンシュナーブル)は、BMW Motorradの新型ロードスター・モデル「BMW R nineT(アール・ナインティ)」の発売に伴い、日本を代表する4人のカスタム・ビルダーが個性あふれるカスタム・マシンへと仕上げるプロジェクト「BMW R nineT カスタム・プロジェクト」を展開しているが、今回、カスタム車両が完成し、その全貌を公開した。

BMW R nineT カスタム・プロジェクトは、BMW Motorrad が持つライフスタイル・ブランドとしての新しい可能性を提案することに主眼を置き、カスタムされたBMW R nineTを通じて幅広いユーザーに認知させ、世界のカスタムシーンにおいてトップレベルと言われる日本から世界へ発信するプロジェクトである(カスタム・ビルダーの詳細は添付参照方)。

プロジェクトの模様は、スペシャル・サイトにてムービー配信されており、「ティザーページ」、「試乗篇」、「製作篇」が既にWEBサイトにてアップされていたが、今回のカスタム車両が完成に伴い、8月30日(土)よりWEBサイトにて「完成篇」のムービーを公開している。

「完成篇」では、4人のカスタム・ビルダーによるBMW R nineTのカスタム・マシンの魅力を余すところなく紹介。ビルダーのカスタムに対する姿勢や本プロジェクトへの思い、ショップの個性にフォーカスしたムービーとなっており、カスタムの世界を知らないユーザーにとっても、カスタムの製作過程を垣間見られる動画になっている。

完成車両は、8月30日(土)から31日(日)にHakuba 47 Mountain Sports Park(長野県北安曇郡白馬村)で行われる「BMW MOTORRAD DAYS JAPAN 2014」で初公開された。

**BMW R nineT カスタム・プロジェクト URL:** [www.r9t.jp](http://www.r9t.jp)

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、  
BMW カスタマー・インターラクション・センター: フリーダイヤル 0120-269-437  
をご掲載ください。  
受付時間: 9:00-20:00 年中無休  
BMW Motorrad に関するお問い合わせ: 9:00-18:00 土日祝日休み  
BMW Motorrad インターネットウェブサイト: <http://www.bmw-motorrad.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:  
BMW Japan Corp. 広報室: 03-6259-8026(製品広報)

添付資料:  
【プロジェクト・ロゴ】



【参加カスタム・ビルダーおよび完成車両】



46works 中嶋 志朗氏



HIDE MOTORCYCLE 富樫 秀哉氏



BRAT STYLE 高嶺 剛氏



Cherry's Company 黒須 嘉一郎氏

## 【カスタム・ビルダー・プロフィール】

- 46Works／ヨンロク・ワークス <http://46works.net/>  
中嶋志朗(なかじま しろう)  
2001年にカスタムショップ「Ritmo-Sereno／リトモセレーノ」を設立。カフェスタイルを纏つたBMWのカスタム・マシンを世界中に広げたことでも知られる。3月より自身のファクトリー「46Works／ヨンロク・ワークス」をハケ岳に起ち上げ、フルオーダーのカスタムバイク製作とそのメンテナンス、クラシックカーのパーツ製作、またオリジナル・ファニチャー製作など創作活動を行う。
- HIDE MOTORCYCLE／ヒデ・モーターサイクル: <http://www.hidemo.net/>  
富樫秀哉(とがし ひでや)  
2006年と2007年に「YOKOHAMA HOT ROD CUSTOM SHOW」の最優秀賞“BEST OF SHOW MOTORCYCLE”を受賞。欧州のカスタムショーにも出展し、好リザルト&好評価を残している。その特徴は走ることをシンプルに求めたディテールと、有機的なデザイン。走りをよりシンプルに楽しむため、高年式のスポーツスターをベースにしたカスタムプランも用意している。ファクトリーOPENは2003年。
- BRAT STYLE／ブラット・スタイル: <http://www.bratstyle.com/>  
高嶺 剛(たかみね ごう)  
ハーレーダビッドソン、トライアンフ、ヤマハSR/XS、カワサキW650など国境も時代も飛び越え、チョッパー、ボバー、トラッカー、ビンテージMXと創造するカスタムスタイルにも囚われない。フルオーダーのカスタムバイク製作のほか、スタイルやカスタムメニューをパッケージしたコンプリートマシンの販売も行っている。ファクトリーOPENは1998年。
- Cherry's Company/チェリーズ・カンパニー: <http://www.cherryscompany.com/>  
黒須嘉一郎(くろす かいちろう)  
「YOKOHAMA HOT ROD CUSTOM SHOW」において2012年、2013年と2年連続で“BEST OF SHOW MOTORCYCLE”を受賞。その実力の高さを証明している。シルエットの美しさはもちろんだが、細部に目を凝らせば、各パーツの曲面やエッジは意思を持ち、それを丁寧に繋ぎ合わせ、また積み重ねることで車体が構成されていることがわかる。ファクトリーOPENは2000年。